

明治安田生命

グループ全体でSDGsの取り組み進む

社内外へのMYBMが「SDGs宣言」認識浸透へ

明治安田生命ではSDGsに関して、グループ全体での取り組みが進んでいる。同社(個社)では、「特に注力する優先課題(マテリアリティ)」として、「健康寿命の延伸」と「地方創生の推進」の二つを、「さらなる取り組みが必要な優先課題」として「環境保全・気候変動への対応」を設定しているが、国内グループ会社では、これら三つを共通の優先課題と位置付けることに加えて、全社が各社ごとの優先課題(マテリアリティ)を策定・公表し、SDGsの取り組みを推進している。同社の取り組みの特徴とグループとしての特徴、特定のグループ会社(1社)の具体的な事例、最新の取り組みなどを取材した。

「健康寿命の延伸」「地方創生の推進」

明治安田生命は、「グループサステイナビリティイ方針」制定を踏まえ、2022年4月から、国内グループ会社各社もサステイナビリティ経営における「優先課題(マテリアリティ)」を設定した。具体的には、明治安田生命の「特に注力する優先課題(健康寿命の延伸、地方創生の推進)」と「さらなる取り組みが必要な優先課題(環境保

トするイベントの開催等を行っている。

「地元元気プロジェクト」では、「つながり、ふれあい、ささえあう」をスローガンに、地域で創出する三つの社会的価値を「地域のみなさまの健康保持・増進」「地元への愛着と暮らしやすさの向上」「地域を支える企業・団体の持続的な成長」と定め、取り組みを推進。「地域のみなさまの健康保持・増進」では、地域での健康増進イベントや献血の啓発活動の推進、「地元への愛着と暮らしやすさの向上」では、生活課題に役立つ行政サービスの案内や金融・保険教育、若

「健康寿命の延伸」「地方創生の推進」はそれぞれ全社横断の取り組みである「みんなの健活プロジェクト」「地元元気プロジェクト」「大プロジェクト」を通じて、推進している。「みんなの健活プロジェクト」では、「健康を、いっしょに育てよう。」をスローガンに、顧客や各地域住民の健康増進を「商品」「サービス」「アクション」の三つの分野でサポート。「商品」では、健康ステーションに於いて顧客をサポートする「ベストスタイル健康キャッシュバック」等の健康増進型保険を提供、「サービス」では「MY健活レポート」を通じて健康に関する情報・アドバイスの提供、「アクション」では自治体や地域アフィニティと連携の上、地域に住む人々の健康づくりをサポート



MYBMでの救命講習の様子

ビルテナントへの啓発活動にも注力

サービス③明治安田アセットマネジメント④明治安田ビルマネジメント⑤明治安田ライフプランセンター⑥明治安田システム・テクノロジー⑦明治安田オフィスパートナー⑧明治安田ビジネスプロセス⑨明治安田商事⑩明治安田収納ビジネスサービス⑪明治安田総合研究所⑫サンピナス立川等がある(いずれも株式会社

同社では、「安全・安心・快適なオフィス環境を、いつまでも」という経営理念のもと、国連が掲げるSDGsを企業行動につなげ、「お客さまから信頼され選ばれる企業となること」を目指しており、サステイナブルな社会実現に向けた各種取り組みを複数推進している。

1番目の特徴は「SDGs宣言」で、会社経営の軸足をSDGsに移したことを社内外にコミットするために22年6月にSDGs宣言を公表した。また、個々の社員においても、社内で「SDGsスピーチ」「SDGs自分ごと化宣言」等を実施するとともに、全社員がSDGsに関する社外の専門家による研修や複数回受講する等により、SDGsに関する認識が深まっている。それ

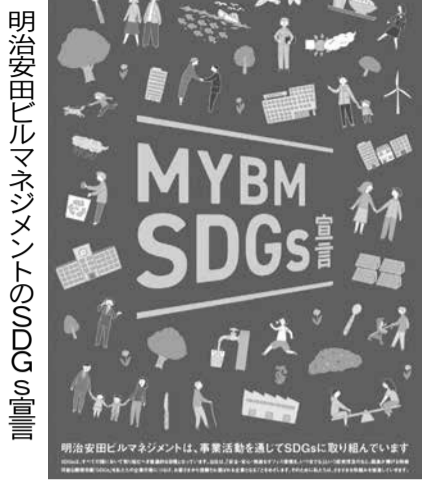
「環境認証(CASBE E-不動産)」は、建物における環境性能評価(耐震性、エネルギー使用の状況、屋内環境、生物多様性など)を不動産評価に活用できるようにしたもので、昨年度は明治安田生命ビル(明治生命館含む)、明治安田生命大阪梅田ビルについて「CASBE E-不動産(Sランク)」を取得した。「二酸化炭素排出量削減に向けた諸取り組み」としては、ビルオーナー(明治安田生命)と連携し、照明のLED化工事等空調の高効率化工事等を推進している。また、SDGsに資する工法等について取引先との研究を進め、その実現を目指している。さらに、「健康増進・地域貢献への取り組み」にも注力し、全

今後の計画や展望

明治安田生命は、「長期に安定した経営をめざす相互会社の理念」や「お客さまの生涯にわたって寄り添うアフターフォロー」等、長期の時間を重視しており、これは持続可能な社会づくりへの貢献と軸を一にするものであると捉えている。今後も引き続き、サステイナビリティ領域におけるさまざまな取り組みを通じて社会を基盤として活動する企業としての責任を果たし、「お客さま」「地域社会」「働く仲間」をはじめとするステークホルダーとの共通価値を創造することも、その価値を「未来世代」に引き継ぐことを通じて、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上につなげていくとしている。

最新のトピック

明治安田生命は、サステイナビリティ経営における「優先課題」の一つに「金融包摂(金融アクセスの確保等)」を設定し、取り組みを「お客さまのお手続き不便を解消し、誰ひとり取り残されることがなく安心して契約の締結・維持管理を行う」ことと位置付けた上で、「みんなにやさしい保険アクセス」として推進している。



明治安田ビルマネジメントのSDGs宣言

「商品」では、健康ステーションに於いて顧客をサポートする「ベストスタイル健康キャッシュバック」等の健康増進型保険を提供、「サービス」では「MY健活レポート」を通じて健康に関する情報・アドバイスの提供、「アクション」では自治体や地域アフィニティと連携の上、地域に住む人々の健康づくりをサポート

グループとしての取り組み

明治安田生命の国内グループ会社には、①明治安田損保②明治安田保険

社)。グループ各社は、個社ごとに事業内容にあわせた独自の優先課題を設定し、各社のホームページを通じて公表するなど、グループ一体となってサステイナビリティ経営を推進している。

「明治安田ビルマネジメント」の取り組み

グループ会社の具体的な事例として明治安田ビルマネジメント(MYBM)の取り組みを聞い

ら結果、従業員意識調査の「SDGs経営理解度」では、ほぼ100%の従業員から肯定的な回答を得るとともに、それを社員の自発的な小集団活動として展開し、地域の子どもたちの健全な育成に向けたことも食堂への寄付などの活動に取り組んでいる。

2番目としては、SDGs宣言以降は、「テナ

また、グループ会社に

おいても、策定した「グループサステイナビリティ方針」のもと、明治安田生命グループのシナジーを生かした取り組みの充実化を図っていく方針だ。